



2019.
3月号

社協マスコットキャラクター
ゆりちゃん（本名：国府ゆり）

いしおか 社協だより



関川地区の ダイダラボッチ

関川地区の境には、悪いモノや病気が入ってこないようにとの願いを込めて、麦わらで人形のかたちを作り、杉の葉を人形全体に挿したこわい顔の大人形（ダイダラボッチ）が置かれ、地区の人たちの生活を守っています。

お譲りください!!

石岡市内中学校 制服&体操着

ご提供していただいた衣類はクリーニング後、必要としている生徒へ貸し出しを行います。
※貸し出す際には、クリーニング代の一部を借用者にご負担していただきます。

受付品目

- 石岡市内中学校の制服及び体操着
- 単品可（ズボン・スカート・リボン・ベルト等）

現状のままお持ちいただいて結構ですが、使用可能なものをお願いします。





2月2日(土) 石岡市社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、いきいきクラブ連合会共催による「第4回石岡市の地域福祉を考える集い」がふれあいの里石岡ひまわりの館で開催され、約350名が参加されました。

式典では、本会が行う事業に多大な貢献をされた、ダンシングスタジオUENO代表 上野修一様と、ボランティア代表 ジャン小美玉店様に對し、社会福祉協議会会長より感謝状が贈呈されました。また、長年にわたりボランティア活動に従事された宮本たか様には、石岡市長より県知事表彰が伝達されました。

第1部では、少子高齢化や人口減少、地域の衰退を克服して石岡市を明るく住みやすい街にするために、高齢者や中高生、民生委員、ボランティア、福祉施設職員の方々8名の意見発表があり、それぞれの立場から地域福祉に対する貴重な意見を聞くことができました。

第2部では26組92名による石岡プラチナ歌謡ショーを開催し、様々な年代の方々が歌や舞踊、ダンスなどを披露し、会場は大いに賑わいました。

感謝状贈呈

石岡市社会福祉協議会の事業に多大な貢献をされた皆様に感謝状の贈呈を行いました。

ダンシングスタジオUENO 代表 上野 修一様 パーラーデルジャン小美玉店様

ダンシングスタジオUENO 代表 上野修一様は、多年にわたり石岡市社会福祉協議会に福祉資金を提供されました。パーラーデルジャン小美玉店様は、多年にわたり石岡市社会福祉協議会に食品類を提供され、石岡市の地域福祉に貢献されました。



ダンシングスタジオUENO 代表 上野修一様

茨城県知事表彰伝達

宮本 たか様

宮本たか様は、長年にわたり、ひとり暮らし高齢者の集いや、多くのボランティア活動に従事され、その功勞により、平成30年度茨城県社会福祉大会において茨城県知事より表彰されました。



【第1部】意見発表会

(発表順)

笑顔で生きる



石岡市ボランティア連絡協議会 会長
いさか ひでよ
井坂 日出代 様

もし、ドラえもんが介護福祉士になったら



茨城県立土浦第一高等学校 1年
おおしま ゆうじ
大島 優治 様

新しい時代に向けて



石岡市いきいきクラブ連合会 理事
こやま みつえ
小山 満江 様

地域の子どもたちを応援したい



府中地区民生委員主任児童委員
北小放課後児童クラブ支援員リーダー
みわ つなこ
三輪 統子 様

仲間がいるから出来ること



ボランティアひびきの会
石岡市中央図書館ブックスタートボランティア
みうら みちこ
三浦 美智子 様

ガールスカウトを通して



茨城県立並木中等教育学校 3年
ガールスカウト茨城第12団
たちかわ しず
立川 史珠 様

泣き笑いボランティア人生



府中地区ふれあい活動交流会ボランティア
みやもと
宮本 たか 様

障がい者の生活をサポートして



社会福祉法人常陸青山会
光風荘アネックス
生活支援員主任 兼 相談支援専門員
ぬまた たかお
沼田 貴生 様



意見発表内容紹介 No.1

「第4回石岡市の地域福祉を考える集い」で意見発表を行った8名の内、今号では4名の方々の内容を紹介します。

(発表順・敬称略)

新しい時代に向けて

石岡市いきいきクラブ連合会 理事

小山 満江



私は、いきいきクラブ連合会の役員と日本遺族会の役員をやらせていただいております。本日は、まだ勉強中ですが、介護保険についてと、天皇、皇后両

陛下をペリリュー島でお迎えさせていただいた時のお話をさせていただきます。

最初に介護保険が大きく改正され、総合事業が始まりました。住民の力で費用を抑制し、介護予防事業にお金を使うようになるそうです。私達もシルバー体操などに奮って参加し、できるだけ体を動かし健康寿命を延ばすよう頑張っていかななくてはなりません。2025年になりますと75歳以上の高齢者が3人に1人となるそうです。また、昨年の全国の出生率は前年度より2万5千人減り、人口は緩やかに減っておりますので、県、市町村で費用を補うようになるそうです。地域共生社会といまして、障がい者も高齢者も子供や引きこもりも一緒にあって寄り添いながら暮らしやすい地域をつくることになり、それが自分の利益にもつながるので地域に参加

するきっかけとなります。例えばご近所で郵便箱に新聞や郵便物が溜まっているとか、洗濯物が干したままになっているとか、夜になっても灯が点かないなどの時には積極的に声をかけてみるようにする、高齢者の被害もありますので気になることがあれば、地域包括支援センターに連絡します。これから1人暮らしであっても、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようになります。それには生活サポーターの方が回ってきてくれるそうです。医療・介護・予防・住まいの生活支援が確保される体制を取ってくれますので地域包括ケアシステムとなります。このシステムが実現するので心配することはないと思います。私達は近所隣りと仲良くし、助けられたり助けたりで生活すれば良いのです。皆様も考えてみては如何でしょうか。

次に、天皇、皇后両陛下の退位にあたり一言述べさせていただきます。4年前となりましたが天皇、皇后両陛下のパラオ共和国戦跡慰霊訪問のお出迎え事業で全国で22名、茨城からは私とつくばみらい市の岡田さんが4泊5日で行って参りました。パラオは南半球にあり、日本からは3,000km離れた中部太平洋にある島国です。お出迎えは日の丸の波打つ中、万歳の声高らかに響き渡り、その中に両陛下の笑顔がありました。本島に1泊し明朝50km離れたペリリュー島にスピードボートで1時間40分、紺碧の海を渡り平和記念の碑の前でお待ちしておりました。ペリリュー島は茨城県水戸第二連隊1万2千人、米軍1,700人が戦死し、日本軍が玉砕した島です。その時は、草や木も1本もなく焼け野原だったそうです。米軍が攻めてきた海岸はオレンジ

ビーチと名付けられ兵士の血で海の色がオレンジ色に染まったそうです。厳重な警戒の中、両陛下はバスから降りて記念の碑の前に故国の白菊を供花なされ拝礼式が終わり、私達の並んでおりますところに進み寄りお言葉を下さいました。私は前列ではありませんでしたが両陛下よりお言葉をいただき感動のあまり目頭が熱くなりました。その後NHKの報道記者のインタビュウがあり、陛下はどんなお方でしたかと聞かれました。帰国してから両陛下と共に写ったお写真が届きました。島には以前、電気もなく風呂もなく雨水をためて体を拭くだけでした。今回は水道も入り集会所もきれいになっていました。ホテルはありませんので両陛下は船で1泊したそうです。船の後方にはヘリコプターが積んでありました。

平成最後の年を迎え両陛下が無事に譲位の日を迎えられることを祈念し、私達は今までの経験を若い人達に伝えながら新しい時代の望まれた高齢者像を求めて、これからも社会に貢献していく決意でございます。



もし、ドラえもんが

介護福祉士になったら

茨城県立土浦第一高等学校1年

大島 優治



私には一緒に暮らす祖父母がいます。私が社会人になる頃には、介護の課題が少なからずのしかかってくると思います。そんな私にも幼い頃からの夢があります。それは、国民的アニメに登場するロボット、ドラえもんを開発することです。漫画を買い漁り、映画は欠かさず見て、ひみつ道具に憧れて育ってきました。今回は、困っている人を助けてくれる心優しいドラえもんが介護福祉士となり、寝たきりの高齢者を介護した場合をシミュレーションしてみようと思います。

まず始めに、ドラえもんはこの家の机の引き出しからも飛び出してくるわけではないので、未来のデパートで購入しなければなりません。設定では、1台二十万円となっています。しかし、現在、装着した人の身体機能を補助するロボットであるHALをはじめとする介護ロボットの相場は百万〜五百万円と、かなり高額です。この値段の高さは介護現場で介護ロボットが普及しない主なファクターの一つになっています。

ドラえもんを購入したら、早速介護してもらいます。食事、排泄、入浴なども持ち前の怪力で卒なくこなすことができるでしょう。設定では、ドラえもんの腕力は129.3馬力で優に成人男性の五百倍を超えています。

しかし、様々な介護の要素をマルチにこなすであろうドラえもんとは対照的に、現在の多くの介護ロボットは入浴なら入浴、食事なら食事、排泄なら排泄と機能が限定されているものが多く、その分だけロボットを購入しなければなりません。

また、介護福祉士のドラえもんが家庭だけでなく介護福祉施設で働き始めたとしても、勿論人工知能によって動いているので作業はオートメーション化され、人間が動かさずとも機能します。作中では、自分で工場検査に赴いたりもしますが、誤作動のリスクも極めて低いといえます。しかし、現段階の介護ロボットには手順と知識が必要であるうえに、機械の扱いにも慣れを要するため、あまり効率化も進んでいないのが実情です。

このように、介護ロボットには現実的な課題が山積んでいます。確かに、これまでのシミュレーションの中での介護福祉士ドラえもんは半ば絵空事のようにも思われるかもしれませんが、しかし、2025年までに団塊世代が後期高齢者になることで社会保障費が急増すると見込まれている、いわゆる2025年問題のあおりを受けるであろう介護福祉士の不足の問題はとて深刻です。それに対応するために、介護ロボットは、より廉価で、より総合的な機能を持った、効率的な使用が可能となる「ドラえもん化」が必要だと考えています。

現実に技術が追い付いていない今、介護ロボット市場は急成長をみせており、ここ数年で、市場規模は2倍以上にもなると予想されています。これには、政府が介護ロボットの普及を目的とした、介護ロボットの導入に助成金として税金を投入したことが後押ししました。今は終了しているとはいえ、技

術的な問題を差し置いて使われる税金には少なからず疑問を感じます。

そうはいつても、私達はドラえもんの誕生する2012年まで待つている訳にはいきません。今までの私の夢は、ドラえもんのような、感情と人格を持った人工知能の開発というものでしたが、今回の福祉について考える機会をいただいたことで、私の夢のベクトルは、新たに、介護・福祉という視点から見たドラえもんにも向けられることになりました。私達高校生がおじいさん、おばあさんになったときに、側にいるのが家族とドラえもんであることを切に願いながら、夢の実現に向けて、日々勉強に取り組んでいきたいと感じました。

笑顔で生きる

石岡市ボランティア連絡協議会会長

井坂 日出代



今日は、ボランティアについてということでお話しをさせていただきますが、今日ここに参加している方ほとんどがなんらかの形でボランティア活動をしている方かと思いますが、その中にはボランティアを知らない方もいると思いますので、その辺をお話しして、1人でもボランティア活動に参加できることを私は願います。

私達は互いに助け合いそして支え合いながら生活しています。その支え合い助け合いが私達のボランティア活動ではないでしょうか。私たちは自らそのボランティア活動をするにあたって地域のみなさん

と一緒に生活をしながら活動することが大事だと思えます。ボランティアはちつとも難しいことではありません。皆さんはお話しが大好きだと思えます。おしゃべりが大好きですよね。その話し相手になることもひとつのボランティアなんです。傾聴ボランティアと違って、難しい言葉を使いましたがお話を相手ですることです。皆さんが今まで色々経験してきた技術そして趣味、また特技があるかと思えます。その特技を生かしながら社会で生活しながらボランティア活動をしていただくことが大事なんです。でも1人ではなかなか大変ですので、2人そしてまた3人と、グループを作りまして、そして仲間と一緒に活動することです。仲間と活動することによって、色々な意見が出て、そこで勉強にもなります。そのことによってボランティアの輪が広がっていきます。そうすると一層楽しみが沸いてきます。

笑顔になります。笑顔に生きるのは私達の生きる楽しみだと思えます。笑顔は宝石よりも尊いと思えます。もし、ボランティア活動をする時に、どうしてもわからないことがあります。社会福祉協議会に行きますと、イケメンのコーディネーターがいて、いろいろサポートしてくれます。そして、それ以上に、職員には厳しいが、私達には笑顔で接してくれる社会福祉協議会の事務局長さんがいます。自称イケメンとっています。イケメンの局長さんとお会いすると色々とお話しを聞かせてくれますので、社会福祉協議会の方へ足を運んでいただければいいかなと思えます。

また、私はボランティアをすることはいいんですけど、ただ、ボランティアだけに集中すると、疲れも感じますので、自分の趣味を活かしながら、そ

して趣味をやりながら、また、趣味だけでなく、石岡市には色々な団体があります。その団体に入ると、その団体の方と一緒にやっていることによって勉強になり自分が磨かれていきます。そういうところに入ってボランティア活動することが私達の生きがいだと思えます。ボランティアだけに集中しないで色々な団体に入り、多くの方と仲間を作りたいと思います。

最後に私の35年のボランティア活動において、すごく感動してボランティア活動をしたことが、今でも心に残って時々涙がこぼれることがあります。それが今でも喜びとなっております。というのは、あの施設から「施設に入所されている利用者さんのお話し相手になってくれませんか」と言われ、「どういう方ですか」と聞くと末期癌の利用者さんだったんです。末期癌の利用者さんが1人部屋に入られており、その方のお話し相手になってほしいと言われてました。それで私は毎週1回行ききました。その時利用者さんは、苦しみを忘れていたのか、それとも苦しみをこらえていたのかわかりません。利用者さんは、いつも笑顔で迎えてくれました。私もお会いするのを楽しみに笑顔で行きました。その方はクリスマスチャンでした。私も讃美歌をいくつか知っていたので、一緒に歌い、決して病気のことは話しません。花が咲いた、電車に乗っていたらこういう人がいたなど、日々の出来事を話しました。利用者さんの話も聞きました。利用者さんは関西の方でした。関西弁で私に話してくれたり、また、讃美歌のことも話して、毎回行くたびに笑顔で迎えてくれました。本当は私が傾聴し、笑顔にさせてあげなくてはならないのに、笑顔で迎えてくれて、私は涙することがあ

りました。そして、2か月が経ったある日、いつものように訪問すると、施設の方から2日前に亡くなりましたと聞きました。私はその時拭えないほどの涙がでました。でも、その方の家族が関西から迎えに来られたとき、大変喜んでおりました。「とても幸せな人生を送ることができた。笑顔で送ることができた」とお話ししてくれました。私はその言葉を聞いて、やはり人間は笑顔で生きることが大事なんだ、あの方に笑顔の美しさを教わることができました。そういうことで私は今も笑顔で生きることの喜びをもって生きております。皆さんもどうぞ笑顔で生きて笑顔で宝石と思いつつ生きていただきたいと思います。

ガールスカウトを通して

茨城県立並木中等教育学校3年
ガールスカウト茨城第12団

立川 史珠



私は、小学校1年生の頃からガールスカウト茨城第12団という石岡市を中心に活動をしている団に所属し、約9年間ガールスカウト活動を続けています。つながることができました。

同じ団の中では、同じ年の子だけでなく、小学生から成人まで幅広い年代の女性達と一緒に活動しています。団の活動では、商工祭への出店や、老人ホームでのクリスマス会などで、地域の人とつながることもできます。老人ホームのクリスマス会で

は、おじいさん、おばあさん達と一緒に歌を歌ったり、ハンドベルの演奏をしたりしました。おじいさん、おばあさん達は、私達が話しかけると、とても喜んでくれました。あるおばあさんが、私に「今日はこういう若い人達と一緒に過ごせて本当に楽しかった。」と笑顔で言ってくれました。私はそれ聞いて、おじいさん、おばあさん達を元気づけるために自分にもできることがあるんだ、と感じました。

さらに、県内の他の団のスカウトや、他県のスカウトとも交流し、つながることもできました。私は昨年の12月に県内の他の団の中学生スカウト達と一緒に、岩手県陸前高田市に被災地訪問をしてきました。ガールスカウト茨城県連盟では東日本震災直後から陸前高田市を継続的に支援しています。私達は事前に、今の陸前高田市の課題や、その解決のために自分達にできること考え、プロジェクトを企画して、現地のショッピングモールで実際に行った、現地の方のお話を聞いたりしました。実際に現地に行ってみると、自分達の想像よりもまだまだ人は少なく、工事現場もたくさんありました。現地で見たり、現地の人と関わったりして、初めて知ることが多かったです。また、岩手県のスカウトとも交流を行いました。それぞれの県のスカウトが考えたクイズやゲームなどをして仲良くなることができました。岩手のスカウト達は、方言クイズや岩手の有名なものを紹介してくれて、岩手についてたくさん知ることができました。また、さらに、この訪問では「咲かせよう！桜プロジェクト」として、現地に桜の苗木を植える活動も行っています。私は、保育園に地元の園児達と一緒に桜の苗木を植えました。

また、以前に訪問したスカウト達が植えた桜も見に行きました。その桜は、自分達が植えた苗木よりも大きく、たく成長していて、時間の経過を感じました。それと同時に、この桜や私が植えた桜が、陸前高田と茨城のガールスカウトのつながりの象徴になるといいなと思いました。桜がさらに成長して、花を咲かせたときに、陸前高田の人達にその花を見て、私達のことを思い出してほしいです。

このような出会いや経験は、私にガールスカウトというつながりがなければできなかったことだと思います。最近では、私達中学生にも特定の友達としか関わらず、自分から多くの人と関わらない人が多いように感じます。私は、つながりをたくさん持つことは、自分に新しい考え方や視点を与えてくれると思います。老人ホームのおばあさんが言ってくれたことから感じた、自分にできること。被災した方のお話から分かった被災直後の状況や、現地の人達と関わって知った被災地の現状。桜の植樹から感じた陸前高田とのつながり。このように、自分ひとりだったら絶対には知ることのできないことはたくさんあると思います。だから、私はガールスカウトを通してたくさんの人達とつながることができて、よかったなと思います。このつながりは、地域での活動から広がっていったものです。学校や、家族とは違った、ガールスカウトで、地域の仲間達と活動してきたことが、だんだん広がって行って、今の私のつながりを作っています。これからも、今あるつながりを大切にして、地域、世界のために行動できる人になりたいです。



意見発表を行った8名の皆様

【第2部】石岡プラチナ歌謡ショー



『カナダからの手紙』を熱唱する
村上いきいきクラブ田上 敏夫様と和子様ご夫婦



舞踊『恋瀬姫わっしょい』を披露する
天穂の会の皆様



ハワイの情景が浮かぶようなフラダンスを披露する
ナープアオールイカラーとフラガールズの皆様



水戸黄門で有名な『あゝ人生に涙あり』に合わせて健康体操を披露する
府中いきいきクラブの皆様



舞踊『河内の次郎長』を披露する
花むすびの会 大野 陽子様



二代目コンピア・ローズの智恵子抄を熱唱する
飯塚カラオケ教室 川井 静子様



キュートでかっこいいダンスを披露する
キッズジャズダンスの皆様



舞踊『さくら』を披露する
藤間流勘佐彦会の小松本 恵麗奈様、土肥 綺音様

Topics



パンらんとピエロのパントマイム



風ポ君のバルーンショー

12月22日(土)ふれあいの里石岡ひまわりの館において、「クリスマスの集い」を開催し、市内の心身障がい児(者)の方と家族67世帯141名の皆さまが参加しました。アトラクションでは元警察官のバルーンパフォーマー「風ポ君(ふうぼくん)」によるバルーンショーと、NHKの番組出演やイベントなど全国各地で活躍する「パンらんとピエロ」によるパントマイムを行い、参加者も一緒になって、風船で花を作ったり、クイズに答えたり、「壁」を表現するパントマイムを一緒にを行い、楽しいひと時を過ごしました。

クリスマスの集いを開催



悪徳商法撃退方法の講演を行う
消費生活相談員 岡田美枝子氏



反射材を利用した交通事故
防止実演の様子



二重電話詐欺被害防止寸劇を行う
茨城県警察音楽隊の皆様



交通事故防止腹話術を披露する
交通安全アドバイザー 高橋利子氏(写真右)

第3回石岡市安全・安心 プラチナ大会開催

12月11日(火) ふれあいの里石岡ひまわり
の館において、「第3回石岡市安全・安心プ
ラチナ大会」を開催し、約340名が参加し
ました。

3回目となる今回は、反射材等を利用した
交通事故防止実例紹介の実演を田村貞雄氏
(総社)、猪瀬政江氏(柏原町)、社協職員
で行いました。夜間の反射材使用、洋服の色
に注意することで交通事故防止にとっても効果
があることを再認識しました。

また、全国消費生活相談員協会の岡田美枝
子氏による「高齢者を狙った悪徳商法撃退方
法」の講話と、交通安全アドバイザー高橋利
子氏による交通事故
防止の腹話術、最後
には茨城県警察音楽隊
による二重電話詐欺
被害防止のコントと
素晴らしいナツメロ
演奏により盛況のう
ちに幕を閉じまし
た。



ナツメロを演奏する
茨城県警察音楽隊の皆様

石岡市社協と(株)カスミ 食糧支援協定締結

1月28日(月) 石岡市社協と(株)カスミにお
いて食品等の無償提供に関する基本協定を締
結しました。

この協定は、(株)カスミ(市内3店舗)から
賞味期限のある食品を石岡市社協が無償で提
供を受けるもの
です。提供され
た食品は生活に
困窮し、支援を
必要とされてい
る方々へ無償で
提供し有効に活
用されます。



協定書を交わした(株)カスミ環境社会貢献部 齋藤部長(右)
と社会福祉協議会 仲川事務局長(左)

生活支援体制整備事業

高齢者のための 地域づくりフォーラムを開催



12月15日(土) 国府地区公
民館でフォーラムを開催し、
65名が参加しました。

当日は、高見文男氏(茨城
県社会福祉協議会)を講師に
迎え、生活支援体制整備事業
と地域共生社会の関わりにつ
いて講話をいただき、これからの地域づくりは
支え合いと助け合いが重要であると、説明を受
けました。さらに、事例紹介として社協職員か
ら石岡市の現状を紹介し、参加者からは「助け
合いに興味を湧いた」「今後も同様のフォーラ
ムに参加したい」などの感想が聞かれました。

市長と語りっ！ タウンミーティングを開催

1月25日(金) 城南地区公民館において、3
回目の城南地区ささえ合いネットワーク会議が
開催されました。今回は「地域で助け合うまち
づくり」をテーマに今泉市長をお招きしてタウ
ンミーティング形式で開催されました。吉田淳
委員(高浜小教頭)から、昨年10月に立ち上げ
た「いきいき高浜小学校ミニサロン」の活動報
告があり、設立までの経緯や、高齢者と児童の
交流の様子が紹介されました。その他の委員か
ら、ミニサロン、ふれあい活動交流会、高齢
者宅訪問活動の報告があり、市長を交えて活発
な意見交換や情報の共有ができました。



1月21日(月)いきいき高浜小学校ミニサロンで、高齢者と小学生1・2年生15名が、コマ回し、けん玉、メンコ、あやとり、だるま落とし、おはじきなどの昔遊びを一緒に楽しみました。参加した小学生は、最初は上手くできませんでしたが、遊び方を教わるうちに上達し、友達と競い合っていました。また、ミニサロン参加者も懐かしい遊びを楽しんでいました。

ミニサロンで高齢者と小学生が昔遊びを体験

募集

ひまわり学習塾 生徒募集!!



「高校受験の準備がしたい」「授業で分からなかったことを理解したい」「学校のテストの点数を上げたい」など、子どもたちの勉強を指導します。

- ◆開催日時 毎週日曜日 午前9時から正午
- ◆場 所 ふれあいの里石岡ひまわりの館
- ◆募集対象 新中学1年生～3年生
- ◆授業料 無料(問題集代が年間3,000円程かかります)
- ◆内 容 教科書に対応した問題集(英語・数学)を、生徒1人ひとりに合わせて行います。定期テスト前は、午後も開講します。希望者には、新教研テストを実施し、志望校の合格率判定が出来ます。

募集

福祉ボランティア募集 (在宅福祉サービス生活サポーター)

高齢者などが安心して日常生活を送れるよう、お手伝いくださる方を募集しています。

- ◆活動内容 生活支援(掃除、洗濯等)、子育て支援、病院や役所等の送迎付き添い
- ◆活動日 月曜～金曜日
※祝日、12/28～1/5を除く
- ◆活動料金 1時間600円(午前9時～午後5時)
※時間外(午前7時～9時、午後5時～7時)は1時間900円/交通費別途支払い不問
- ◆資 格 不問

※プラチナ応援事業の対象です

お知らせ 福祉機器等の貸出し有料化について

社協では、これまで介護用ベッド、ベビーカー、綿菓子機などの福祉機器等を市民のみなさまへ無料貸出しを行ってまいりましたが、4月1日より一部有料にさせていただきますことになりました。

品 目	利用料(円)
ベビーカー・バギー	500/台
ポップコーン・綿菓子・かき氷機	500/台
介護用ベッド	1,000/台
テント	500/張り
中学生用制服	300/上下各

※車いす、福祉車両は今まで通り無料です。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

お知らせ

心配ごと相談



※予約不要

	石 岡 地 区	八 郷 地 区
実施場所	国府地区公民館	石岡市農村高齢者センター
実 施 日	3月 8日・22日	3月14日・28日
	4月 5日・19日	4月11日・25日
	5月17日・31日(全て金曜日)	5月 9日・23日(全て木曜日)
実施時間	13:00～15:00(受付:14:30まで)	13:00～15:00(受付:14:30まで)



平成30年度共同募金実績報告

市民の皆さまをはじめ、各学校・事業所・団体の皆様からご理解とご協力を賜り、たくさんの募金が寄せられました。下記のとおり実績をご報告させていただきます。

平成30年度共同募金実績額 **14,155,808円**

(平成31年1月25日現在)

区分	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	6,914,558円	3,927,780円
大口募金	1,390,266円	—
街頭募金	21,982円	50,072円
学校募金	403,269円	—
職域募金	136,061円	—
イベント募金	131,567円	—
その他	780,253円	400,000円
小計	9,777,956円	4,377,852円
合計	14,155,808円	

災害義援金	
平成30年大阪北部地震	105,244円
平成30年米原市竜巻	100,000円
平成30年西日本豪雨	777,475円
平成30年北海道胆振東部地震	232,994円
合計	1,215,713円



歳末たすけあい募金街頭募金を実施

- 【石岡駅】・12月19日石岡市ボランティア連絡協議会会員と社協職員合わせて18名が参加し26,950円が寄せられました。
- 【イオン石岡店】・12月6日障がい者支援施設光風荘の利用者と職員及び社協職員合わせて8名が参加し6,077円が寄せられました。
- ・12月23日天理教新治支部会員と社協職員合わせて18名が参加し17,045円が寄せられました。



光風荘利用者
と職員
の皆様



天理教新治支部
の皆様

善意銀行 感謝の報告

心温まるお気持ちをお寄せいただきまして、誠にありがとうございます。
お預かりしました善意は、地域福祉の向上のために活用させていただきます。

平成30年12月1日～平成31年1月31日まで(順不同・敬称略)

物品の部

須田 よし子	プラチナ応援券(500円券)	4枚
匿名	米	30kg
匿名	茶葉	9点
匿名	佃煮 他	9点
ぼこ・あ・ぼこ	プラチナ応援券(500円券)	4枚
	調味料	6点
鈴木 義男	はがき	38枚
井坂 日出代	プラチナ応援券(500円券)	8枚
匿名	プラチナ応援券(500円券)	4枚
パーラーデルジャン小美玉店	お菓子	4箱
水戸ヤクルト販売株式会社	発電機	1台

石岡商工会議所女性会	米	90kg
	食糧	3箱
匿名	缶詰	30個
飯塚 譲	米	30kg
匿名	米	30kg
匿名	米	20kg
匿名	醤油	4本
匿名	手ぬぐい、タオル	6箱
匿名	プラチナ応援券(500円券)	4枚
パールショップともえ石岡店	お菓子	2箱
石岡ロータリークラブ	カップ麺	3箱
	レトルトカレー	1箱
	缶詰	20個

金 銭 の 部

府中地区公民館	
けやき学級（7月13日）館外学習	162円
けやき学級（10月12日）館外学習	134円
ひまわり学級（7月27日）館外学習	125円
ひまわり学級（10月26日）館外学習	134円
夏休み親子教室（8月2日）館外学習	40円
名所探訪講座（5月24日）	234円
大人の社会科見学講座（6月20日）	230円
大人の社会科見学講座（10月17日）	106円
府中地区公民館 公民館まつりバザー収益金	
ここにこエコクラフト同好会	5,550円
府中ハンドメイド同好会	1,834円
東地区公民館	
けやき学級	476円
ひまわり学級	438円
俳句入門	80円
パワースポットと低山登山	30円
木彫り同好会	1,500円
陶芸せいすい会	5,000円
夏休み親子社会科教室	13円
中央公民館まつりバザー収益金	
パッチワーク同好会	11,750円
やさと陶芸同好会	10,100円
木工を楽しむ会	4,612円
匿名	5,000円

林地区公民館ゴルフ大会	20,000円
匿名	2,943円
城南地区公民館同好会連絡会	20,000円
石岡商工会議所女性会	19,774円
子育てサークルおひさまとたんぼぼの会	20,000円
匿名	21,000円
国府地区公民館講座と親子教室	1,062円
石岡市ニュースポーツクラブ	13,076円
匿名	20,000円
城南地区公民館	461円
1ヶ月1分のお仕事を教える会	
関 健司	29,315円
関 利夫	1,299円
小山 美恵子	843円
中村	55円
江畑医院	1,334円
石岡市八郷商工会女性部	10,000円
地域文化同好会イオンミニギャラリー閉会記念	15,283円
谷向下組初午の会	5,128円
谷向町下組愛宕神社講中	1,223円
谷向農家組合下組	3,927円

善意銀行 感謝の 報告



石岡ロータリークラブ 様

使用済・未使用切手

- ◆狩谷電機(株) ◆匿名 ◆石岡市医師会居宅介護支援事業所
- ◆匿名 ◆公益社団法人石岡地方広域シルバー人材センター
- ◆茨城食品(株) ◆(株)スズラン企画 ◆i・マリッジスクエア
- ◆石岡市歴史ボランティアの会 ◆匿名 ◆内山侑一



水戸ヤクルト販売株式会社 様



石岡商工会議所女性会 様



石岡市ニュースポーツクラブ 様

問い合わせ・申し込み
(土、日、祝日を除く)

社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会

本 所

〒315-0009
茨城県石岡市大砂10527番地6
ふれあいの里石岡ひまわりの館内
TEL 0299 (22) 2411(代)
FAX 0299 (22) 2440
E-mail : shakyou@atlas.plala.or.jp



八郷支所

〒315-0116
茨城県石岡市柿岡2155番地
石岡市農村高齢者センター内
TEL 0299 (36) 4311
FAX 0299 (36) 4312
E-mail : ishishakyo.yasato@orange.plala.or.jp

